

研究教育業績（2014-2018 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 村橋毅, 加藤亜由美, 紀戸綾香, 立花研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 埼玉県における微小粒子状物質(PM2.5)と多環芳香族炭化水素の大気中濃度, 日本薬科大学教育紀要, **2**, 77-81 (2016).
- 2) Higuchi T., Morita R., Arai M., Iwase H., Maruyama T., Satoh M., Hoshino Y., Murahashi T., Shiraishi T., Shimada H., Imamura Y., Catechins with a galloyl moiety decrease superoxide formation through redox cycling of 9,10-phenanthrenequinone in pig heart, *The annual report of Nihon Pharmaceutical University*, **1**, 77-87 (2015).
- 3) Shimada H., Tanigawa T., Matayoshi K., Katakura K., Babazono K., Takayama H., Murahashi T., Akita H., Higuchi T., Eto M., Imamura Y., Comparative inhibition of tetrameric carbonyl reductase activity in pig heart cytosol by alkyl 4-pyridyl ketones, *J. Enzyme Inhib. Med. Chem.*, **29**, 397-400 (2014).
- 4) Kamikyouden, N., Sugihara, K., Watanabe, Y., Uramaru, N., Murahashi, T., Kuroyanagi, M., Sanoh, S., Ohta, S., Kitamura, S., 2,5-Dihydroxy-4-methoxybenzophenone: a novel major in vitro metabolite of benzophenone-3 formed by rat and human liver microsomes, *Xenobiotica*, **43**, 514-519 (2013).

[総説]

- 1) 松村久男, 飯田美奈子, 加来鉄平, 齋藤博, 村橋毅, 内用固形製剤の経管投与法の比較検討, 日本薬科大学教育紀要, **3**, 17-20 (2017).

[著書]

- 1) 村橋毅 (分担), 衛生薬学 基礎・予防・臨床, 南江堂, 502-526, 617-624 (2016)

[その他]

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Kubota Y., Murahashi T., Arai K., Doi T., Anzai K., Humanism education utilizing Active Learning~Problems of Life and death in medical care~, The 77th World

[国内学会]

- 1) 村橋毅, 酒井絢子, 樋口敏幸, 農業用水と生活排水が主な水源である河川水中の医薬品分析, 日本薬学会第 139 年会, 3 月, 幕張 (2019).
- 2) 鈴木友也, 松村久男, 飯田美奈子, 初谷健太郎, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 中島孝則, 自転公転懸濁法による内用固形製剤の崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性と薬剤安定性に関する研究, 第 48 回日本病院薬剤師会関東ブロック大会, 8 月, 宇都宮, (2018).
- 3) 田中真澄, 松村久男, 飯田美奈子, 高橋悠, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 超音波懸濁法による内用固形製剤の崩壊懸濁性・経管栄養チューブ通過性と薬剤安定性に関する研究, 第 48 回日本病院薬剤師会関東ブロック大会, 8 月, 宇都宮, (2018).
- 4) 山沢智, 松村久男, 飯田美奈子, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 藤掛佳男, 中島孝則, 内用固形製剤の崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に対する各種経管投与法(簡易懸濁法・高速攪拌懸濁法・自転公転懸濁法)の比較検討, 埼玉医療薬学懇話会第 38 回学術研究講演会, 7 月, 埼玉県伊奈町, (2018).
- 5) 初谷健太郎, 松村久男, 飯田美奈子, 鈴木友也, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 栗田拓朗, 藤掛佳男, 中島孝則, 高速攪拌懸濁法による内用固形製剤の崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性と薬剤安定性に関する研究, 埼玉医療薬学懇話会第 38 回学術研究講演会, 7 月, 埼玉県伊奈町, (2018).
- 6) 村橋毅, 郭錦堂, 樋口敏幸, 立花研, 浦丸直人, 小西瑞紀, 上野華子, 佐々木翔子, 小山彰子, 埼玉県と東京都における大気中の PM2.5 濃度、多環芳香族炭化水素濃度と粉塵の変異原性の比較, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 7) 高橋悠, 松村久男, 飯田美奈子, 田中真澄, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至. 超音波懸濁法によるベンザリン®錠の崩壊懸濁性と薬剤安定性に関する研究, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 8) 高木翔太, 松村久男, 酒井駿太郎, 飯田美奈子, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 中島孝則, 自転公転懸濁法による内用固形製剤の崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 9) 久保田洋子, 村橋毅, 土井良孝, 荒井健介, 樋口敏幸, 安西和紀, ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題～アクティブラーニングの導入, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 10) 村橋毅, 鈴木彩夏, 荒井美帆, 木下成美, 樋口敏幸, 錠剤粉砕器 SafeCrush™ を使用した時の室内医薬品汚染の低減効果について, フォーラム 2017 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 仙台 (2017).
- 11) 酒井駿太郎, 松村久男, 高木翔太, 飯田美奈子, 加来鉄平, 村橋毅, 河村剛至, 中島孝則,

- 軟膏ミキサー懸濁法による内用固形製剤の崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 埼玉医療薬学懇話会第 37 回学術研究講演会, 7 月, さいたま (2017).
- 12) 村橋毅, 井原茜, 富澤万里奈, 佐藤太一, 栗原裕香, 埼玉県内の農業用水と生活排水が主な水源である河川水中の医薬品分析, フォーラム 2016 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 東京 (2016).
- 13) 渡辺航平, 松村久男, 飯田美奈子, 笠原華子, 加来鉄平, 齋藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, 超音波懸濁法によるバクタ®配合顆粒の崩壊懸濁性と薬剤安定性に関する研究, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 8 月, 千葉 (2016) .
- 14) 加瀬裕也, 松村久男, 岩崎光, 飯田美奈子, 加来鉄平, 斉藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, ボルテックス懸濁法による錠剤・カプセル剤の短時間崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 8 月, 千葉 (2016) .
- 15) 岩崎光, 松村久男, 加瀬裕也, 飯田美奈子, 加来鉄平, 斉藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, ボルテックス懸濁法による固形薬剤の短時間崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 埼玉医療薬学懇話会第 36 回学術研究発表会, 7 月, 埼玉 (2016) .
- 16) 村橋毅, 加藤亜由美, 紀戸綾香, 立花研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 埼玉県における大気中の微小粒子状物質と多環芳香族炭化水素濃度, 日本薬学会, 3 月, 横浜 (2016).
- 17) 村橋毅, 久米井祥子, 立花研, 樋口敏幸, 北村繁幸, 調剤室内における空気中医薬品の分析, フォーラム 2015 衛生薬学・環境トキシコロジー, 9 月, 神戸 (2015).

3. その他特筆すべき研究業績

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 2015～2018 年, 地球環境と社会(1 年)
- 2015～2017 年, 薬剤師の使命(1 年), 20 コマ
- 2016～2017 年, 医療にかかわる生と死の問題(1 年), 28 コマ
- 2016～2018 年, 生活環境と健康(2 年)
- 2016～2018 年, 信頼関係の構築(2 年)
- 2018 年, 実務事前実習(4 年), 72 コマ
- 2016～2017 年, 実務実習プレ教育(4 年), 87 コマ
- 2014～2018 年, 薬学総合演習 I A(4 年), 12 コマ
- 2016～2018 年, 実務実習ポスト教育(6 年), 21 コマ
- 2014～2018 年, 薬学総合演習 II(6 年), 17 コマ
- 2014～2016 年, 衛生系実習 II(3 年)

2014～2016年, 公衆衛生学Ⅰ(2年)

2014～2016年, 薬学総合演習ⅠB(4年), 8コマ

2015年, 基礎科学実習Ⅱ(1年)

2015年, 公衆衛生学(2年), 16コマ

2014年, 人体の構造と働き(2年), 3コマ

2014年, 地球環境概論(1年)

2014年, 薬剤系実習(4年)

2014年, 環境衛生学Ⅱ(3年), 24コマ

2. その他特筆すべき教育業績